

「第2次群馬県企業局経営基本計画」 改定(素案)の概要



経営基本計画改定の方針

改定方針

- ▶ **経営の基本方針等の計画の基本思想は継続し**、当初の12年度数値目標に向けて取組を進める。
- ▶ 計画当初年度のR3年度からR6年度まで取り組んできた**実績と計画との乖離を修正**する。
- ▶ **近年急激に変化する社会情勢**に対応した計画とする。

改定方針に従い、以下の 3つの軸を中心としながら計画を改定する。

1 最新事業の追加 2 DX・GXの取組強化 3 投資・財政計画の見直し

第1章 基本的事項 及び 第2章 経営の基本方針

※赤字は修正・追加箇所

1 計画策定の趣旨、期間等

- (1) 将来を見据えた事業運営を行うため、中長期的な視点に立った経営の基本方針等を示すもの
- (2) 県の「新・群馬県総合計画(ビジョン・基本計画)」を踏まえ、企業局分野における最上位計画
- (3) 計画期間は令和3年度から令和12年度までの10年間(令和7年度に計画を改定)
- (4) 計画を推進するにあたり、「経営基本計画委員会」において意見聴取の実施

2 企業局を取り巻く環境の変化の見通し

- (1) 人口減少社会の本格的な到来
- (2) 施設の老朽化と物価上昇
- (3) 電力システム改革への対応
- (4) 地震・記録的豪雨等の自然災害リスクの増大
- (5) 2050年脱炭素社会の実現・GXの推進
- (6) Society5.0社会に向けたDX

4 20年後に目指す企業局の将来像

県民生活や企業活動に欠かせないサービスを安定的かつ持続的に提供するとともに、社会環境の変化に的確に対応した積極的な事業運営を行い、地域発展の礎となる社会基盤づくりと本県が目指す「県民の幸福度の向上」に貢献

3 新・群馬県総合計画(ビジョン)のポイント

- (1) 変化の見通し
 - ① 「ニューノーマル」への転換
 - ② 「弱み」が「強み」へと変化する好機
- (2) 目指す姿
 - ① 「群馬の土壌と融合したデジタル化」と「100年続く自立した群馬」を達成
 - ② すべての県民が、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる社会の実現
- (3) 実現へのロードマップ
地域経済循環等の長期持続策を展開しつつ、群馬に根差した「始動人」を育成

5 経営の基本方針

20年後に目指す企業局の将来像の実現に向け、本計画において、次の3つの経営の基本方針を定め、進取の精神のもと、新たな取組にも果敢に挑戦し、成長を目指すとともに、地域経済循環や環境への貢献を果たしていく。

- (1) 収益力の向上 (2) 効率的な運営 (3) 変化の時代における柔軟な対応

第3章 事業別経営計画 I 電気事業

20年後の将来像

「電力の安定供給や再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消」により、脱炭素社会の実現と地域のエネルギー自給率の向上に貢献

目指す将来像とのギャップ

- ・施設の老朽化
- ・新規水力発電所候補地の奥地化、小規模化
- ・CO₂フリー電力の二ーズ拡大

経営方針と主な取組

1 電力の安定供給

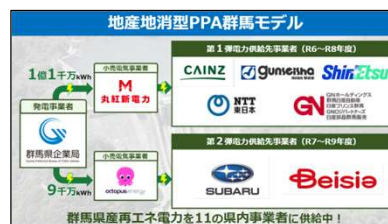
- 〔取組①〕 水力発電所のリニューアル（四万発電所、白沢発電所等）
- 〔取組②〕 オイル減量化の改修
- 〔取組③〕 計画的な修繕及び改良の実施
- 〔取組④〕 保守管理の徹底



白沢発電所 吸出し管の据付

2 再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消

- 〔取組①〕 2050年脱炭素社会の実現に貢献する新規水力発電所の建設（5か所）【G X】
- 〔取組②〕 新規水力発電の開発可能性調査＊の実施【G X】
- 〔取組③〕 水素利活用の推進【G X】
- 〔取組④〕 CO₂フリー電力の地産地消プログラムの活用推進【G X】
- 〔取組⑤〕 発電所及び発電用ダム等を地域活性化の資源として活用
- 〔取組⑥〕 市町村等への技術支援



地産地消型PPA群馬モデル

3 収益力の向上と効率的な運営

- 〔取組①〕 電力売買契約における一般競争入札への移行
- 〔取組②〕 維持管理の効率化
- 〔取組③〕 運転監視業務等の効率化【D X】

数値目標

項目	R元実績	R6実績	R12目標
運転可能率【%】	98.3	99.6	99.0 以上
水力発電所リニューアル【か所】 ※()は進捗率	0 (0%)	0 (33%)	4 (100%)
新規発電所の建設【か所】 ※()は進捗率	0 (0%)	0 (23%)	5 (100%)

第3章 事業別経営計画 II 工業用水道事業

20年後の将来像	目指す将来像とのギャップ			
「災害に強く、良質な工業用水の安定供給」により、地域経済の発展に貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化 ・施設能力に対して、契約水量が少なく、施設利用率が低い 			
経営方針と主な取組	数値目標			
	項目	R元実績	R6実績	R12目標
経営方針1 強靱な工業用水道の構築 〔取組①〕 耐震化の推進 〔取組②〕 計画的な修繕、更新・改良 〔取組③〕 保守管理の徹底 〔取組④〕 危機管理体制の充実	〔目標1〕 年間契約水量【千m ³ 】	72,327	71,993	75,092
経営方針2 収益力の向上と効率的な運営 〔取組①〕 アセットマネジメントに基づく適正規模での施設更新事業 〔取組②〕 契約水量＊の確保（新規受水企業の開拓等） 〔取組③〕 検針業務の効率化【D X】 〔取組④〕 G P S 付きタブレット端末を活用した管路巡視【D X】 〔取組⑤〕 W E Bカメラネットワークとウェアブルカメラによる浄水場内監視【D X】 〔取組⑥〕 太陽光発電設備・L E D照明等の導入【G X】	〔目標2〕 渋川工業用水道の浄水処理施設の耐震化(耐震化完了施設数)	2	3	7 (全施設完了)
経営方針3 良質な工業用水の供給 〔取組①〕 企業の生産活動を支える工業用水の安定供給	〔目標3〕 管路耐震化率【％】	39.6	42.7	100



渋川工業用水道沈殿池補強



検針業務のDX化

第3章 事業別経営計画 Ⅲ 水道事業

20年後の将来像	目指す将来像とのギャップ			
「災害に強く、安全で質の高い水道用水の安定供給」により、県民のライフラインを守ること に貢献	・施設の老朽化 ・施設能力に対して、協定水量が少なく、施設利用率が低い			
経営方針と主な取組	数値目標			
	項目	R元実績	R6実績	R12目標
経営方針1 安全で質の高い水道用水の供給 〔取組①〕 適切な浄水処理 〔取組②〕 水質管理体制の充実・強化	〔目標1〕 年間協定水量【千m ³ 】	65,536	66,923	69,256
経営方針2 強靱な水道の構築 〔取組①〕 計画的な修繕、更新・改良等 〔取組②〕 保守管理の徹底 〔取組③〕 危機管理体制の充実				
経営方針3 収益力の向上と効率的な運営 〔取組①〕 県央第二水道の施設利用率の向上 〔取組②〕 受水市町村との連携による効率的な給水計画 〔取組③〕 W i - F i 整備による保守管理等の効率化【D X】 〔取組④〕 遠隔監視システムの導入【D X】 〔取組⑤〕 水道発電における再生可能エネルギー電力の自家消費等【G X】 〔取組⑥〕 L E D照明の導入【G X】	〔目標2〕 県央第一水道の更新・改良 （浄水処理能力の耐震化率）【%】	29.0%	78.9%	100%



老朽化した送水ポンプ室内配管



保守管理業務のDX化

第3章 事業別経営計画 IV 団地造成事業

20年後の将来像	目指す将来像とのギャップ
「時代のニーズに対応する地域特性を活かした団地開発」により、地域経済を支える産業振興・地域振興に貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに即応できる産業用地の減少 ・住宅用地の分譲低迷

経営方針と主な取組	数値目標			
	項目	R元実績	R6実績	R12目標
経営方針1 企業誘致の受け皿となる産業団地の造成 〔取組①〕 県や市町村の産業政策と一体となった企業誘致の受け皿づくり 〔取組②〕 災害リスクを低減した産業団地の造成 〔取組③〕 再生可能エネルギー等を活用した産業団地の造成【G X】	産業団地造成面積【ha】 (R2からの累計)	—	79	250
経営方針2 本県の立地環境や企業局の強みを活かした産業団地の早期分譲 〔取組①〕 関係機関と広く連携した企業誘致 〔取組②〕 企業ニーズを逃がさない分譲 〔取組③〕 産業団地デジタルマップを活用した企業誘致【D X】	産業団地の早期引渡し【%】 (造成完了後、3年以内の分譲引渡し率)	—	100	100
経営方針3 街の賑わいづくりにつながる住宅団地の分譲促進 〔取組①〕 板倉ニュータウングリーンブロックの分譲【G X】 〔取組②〕 時代に即したプロモーションや企業との連携による住宅団地の分譲	板倉ニュータウングリーンブロックの分譲【区画】	—	— (造成中)	60



産業団地デジタルマップ



板倉ニュータウングリーンブロック

第3章 事業別経営計画 V 施設管理事業

	20年後の将来像	目指す将来像とのギャップ			
格納庫・賃貸ビル	「良好なサービスの提供と効率的な運営」により、地方公営企業として県民福祉の向上に貢献	施設の老朽化			
ゴルフ	・「良好なサービスの提供と効率的な運営」により、地方公営企業として県民福祉の向上に貢献 ・持続的な事業運営に取り組み、指定管理者の創意工夫を促し、広く県民が気軽にゴルフを楽しむ場を提供	施設の老朽化			

	経営方針と主な取組	数値目標				
		項目	R元実績	R6実績	R12目標	
格納庫・賃貸ビル	<p>経営方針 収益力の向上と効率的な運営</p> <p>〔取組①〕 格納庫事業・賃貸ビル事業のあり方検討</p> <p>〔取組②〕 長期利用者の確保と短期利用の促進</p> <p>〔取組③〕 適切な保守管理と施設・設備の更新・改修</p> <p>〔取組④〕 利用状況検索システムによる利用者満足度の向上【D X】</p> <p>〔取組⑤〕 太陽光発電施設等の活用【G X】</p>	 公社総合ビル	〔目標〕 賃貸ビル入居面積【㎡】	3,687	4,153	4,498
ゴルフ	<p>経営方針 広く県民に親しまれるゴルフ場づくり</p> <p>〔取組①〕 県営ゴルフ場のあり方検討及び運営方針に基づく効率的な運営</p> <p>〔取組②〕 県営ゴルフ場の特色を活かしたサービスの提供によるゴルフ場利用者の確保</p> <p>〔取組③〕 適切な保守管理と施設・設備の更新・改修等</p> <p>〔取組④〕 ナビ付乗用カート等の導入による利用者満足度の向上【D X】</p> <p>〔取組⑤〕 再生可能エネルギー由来の電力調達【G X】</p>	 新玉村ゴルフ場クラブハウス	〔目標〕 ゴルフ場当たり利用者数【人／年】	46,286	45,147	45,000

第3章 投資・財政計画

(単位：百万円)												
項 目			実績				計画					
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
電 気	収益的収支	収入	8,701	9,803	9,189	12,297	10,819	10,795	12,228	14,531	14,272	14,183
		支出	6,538	6,430	6,328	7,501	6,804	8,176	8,618	8,628	8,287	8,354
		当年度純損益	2,162	3,373	2,861	4,797	4,015	2,619	3,610	5,904	5,985	5,829
	資本的収支	収入	223	204	339	336	371	379	622	1,243	741	305
		支出	3,756	4,152	4,890	7,042	13,029	10,370	7,313	4,836	4,212	3,697
		収入－支出	▲ 3,532	▲ 3,949	▲ 4,551	▲ 6,707	▲ 12,658	▲ 9,991	▲ 6,691	▲ 3,593	▲ 3,471	▲ 3,392
	総支出額（収益的＋資本的）		10,294	10,582	11,218	14,543	19,834	18,546	15,930	13,464	12,499	12,051
企業債等残高		333	254	179	132	88	53	37	21	12	3	
工 業 用 水 道	収益的収支	収入	2,001	1,911	2,001	1,884	1,961	1,893	1,891	2,108	2,103	2,101
		支出	1,630	1,741	1,659	1,734	1,718	1,752	1,758	1,801	1,864	1,908
		当年度純損益	371	170	342	150	243	141	132	307	239	193
	資本的収支	収入	257	285	167	373	977	836	549	1,360	950	1,423
		支出	897	851	829	1,038	1,453	1,911	1,582	2,489	2,025	2,499
		収入－支出	▲ 640	▲ 566	▲ 662	▲ 665	▲ 477	▲ 1,075	▲ 1,033	▲ 1,129	▲ 1,075	▲ 1,076
	総支出額（収益的＋資本的）		2,527	2,592	2,488	2,772	3,171	3,663	3,341	4,290	3,889	4,407
企業債等残高		6,653	6,347	5,833	5,612	5,757	5,803	5,838	6,753	7,288	8,316	
水 道	収益的収支	収入	4,807	4,759	4,377	4,363	4,472	4,472	4,480	4,467	4,450	4,646
		支出	3,750	3,678	3,413	3,646	3,649	3,579	3,707	3,733	3,745	3,784
		当年度純損益	1,056	1,082	964	717	822	893	773	734	705	862
	資本的収支	収入	0	14	181	6	41	16	0	0	0	0
		支出	2,929	2,767	2,537	1,350	3,852	2,486	1,992	1,728	1,371	806
		収入－支出	▲ 2,929	▲ 2,752	▲ 2,356	▲ 1,344	▲ 3,811	▲ 2,469	▲ 1,992	▲ 1,728	▲ 1,371	▲ 806
	総支出額（収益的＋資本的）		6,680	6,444	5,950	4,996	7,501	6,065	5,699	5,461	5,116	4,590
企業債等残高		7,402	6,438	5,514	4,627	3,869	3,229	2,651	2,202	1,780	1,398	
団 地 造 成	収益的収支	収入	4,649	1,530	6,347	3,029	7,517	2,060	5,076	8,331	9,223	9,176
		支出	3,910	1,255	5,872	2,449	7,012	1,979	4,746	7,657	8,192	8,041
		当年度純損益	739	276	476	581	505	81	329	674	1,031	1,135
	資本的収支	収入	389	8	6	2	0	0	0	0	0	0
		支出	1,468	2,226	5,678	5,054	9,132	8,986	4,165	6,157	7,278	2,152
		収入－支出	▲ 1,080	▲ 2,219	▲ 5,672	▲ 5,052	▲ 9,132	▲ 8,986	▲ 4,165	▲ 6,157	▲ 7,278	▲ 2,152
	総支出額（収益的＋資本的）		5,379	3,481	11,550	7,502	16,144	10,965	8,911	13,813	15,470	10,193
企業債等残高		54	15	0	0	0	0	0	0	0	0	
施 設 管 理	収益的収支	収入	754	832	828	692	665	734	813	751	752	823
		支出	844	588	635	593	738	738	725	731	753	736
		当年度純損益	▲ 89	244	193	100	▲ 73	▲ 4	87	21	▲ 2	87
	資本的収支	収入	52	54	0	154	646	552	103	462	462	92
		支出	236	264	201	418	1,534	802	250	583	583	220
		収入－支出	▲ 184	▲ 210	▲ 201	▲ 264	▲ 888	▲ 250	▲ 148	▲ 120	▲ 120	▲ 128
	総支出額（収益的＋資本的）		1,080	853	836	1,011	2,272	1,540	976	1,313	1,336	956
企業債等残高		1,029	919	750	732	1,218	1,602	1,681	2,114	2,546	2,576	

<電気>

- 収益的収支
- リニューアル後の発電所の F I T 適用により、純損益は増加傾向。
- 資本的収支
- 設備投資の増加は建設改良積立金で補填。企業債の新規の借入れ見込みはなく、残高は減少。

<工業用水>

- 収益的収支
- 設備投資に伴う減価償却費の増加等により支出増加傾向だが、料金見直しにより黒字を確保。
- 資本的収支
- 多額の設備投資に伴い、電気事業からの借入れを行うため、企業債等残高は増加。

<水道>

- 収益的収支
- 設備投資に伴う減価償却費の増加等により支出増加傾向だが、協定給水量の増量により黒字を確保。
- 資本的収支
- 企業債の新規借入れ見込みはなく、償還も順調に進み、残高は減少。

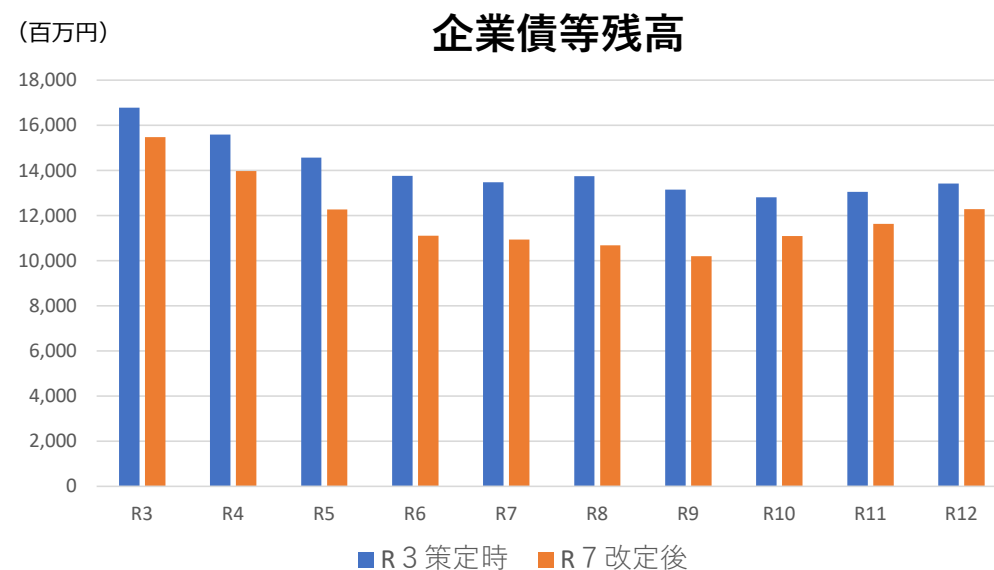
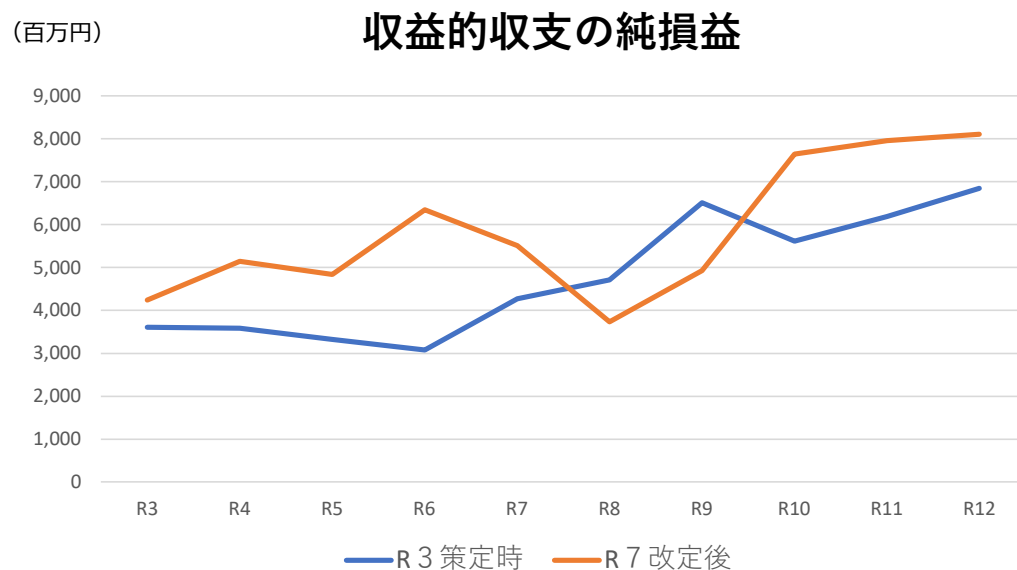
<団地造成>

- 収益的収支
- 計画的に造成した分譲地を 3 年以内に分譲することで、収入を確保できる見込み。
- 資本的収支
- 借入金に頼ることなく計画的な造成・分譲を進めていく。

<施設管理>

- 収益的収支
- ゴルフ場クラブハウス建て替えて一時的に損益が低下。R12には通常営業の再開により、黒字を確保。
- 資本的収支
- 長寿命化工事等の設備投資を予定。電気事業からの借りれを行うため、企業債等残高は増加。

(参考) 全事業合計の「収益的収支の純損益」及び「企業債等残高」



計画を上回る実績(R3～R6年度)及びR7年度以降の取組の見直しにより、
全事業の純損益は策定時より**増加傾向**、企業債等残高は**減少傾向**で、企業局全体で計画策定時より**経営改善**する見込みである。

第4章 全事業共通の主な取組

1 経営健全化の取組

- 〔取組①〕 組織体制の整備と適正な定員管理
- 〔取組②〕 人材育成の取組
- 〔取組③〕 資産の有効活用
- 〔取組④〕 効率的な資金管理・調達・運用
- 〔取組⑤〕 民間ノウハウ・活力の活用
- 〔取組⑥〕 危機管理体制の整備
- 〔取組⑦〕 法令遵守の徹底
- 〔取組⑧〕 働きやすい職場づくりの推進



テレワーク推進

地域貢献

- 〔取組①〕 「ぐんま未来創生基金」への繰出
- 〔取組②〕 地域振興積立金による
文化・スポーツ事業への支援
- 〔取組③〕 再生可能エネルギー導入・
脱炭素化研究開発等への支援
- 〔取組④〕 事業用施設・設備を活用した学習機会の提供等
- 〔取組⑤〕 災害時への備え
- 〔取組⑥〕 外部に対する技術支援



産業技術センターの二次電池開発の支援

経営課題と新規事業の展開

- 〔取組①〕 事業の抜本的な見直し
- 〔取組②〕 D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- 〔取組③〕 G X（グリーントランスフォーメーション）の推進
- 〔取組④〕 調査研究事業の推進
- 〔取組⑤〕 P Rの実施



群馬県企業局

Gunma Prefecture Bureau of Public Utilities



群馬県企業局のロゴ



ハッ場発電所プロジェクションマッピング

(参考) スケジュール



	R7.8月	9月	10月	11月	12月	R8.1月	2月	3月
経営基本計画委員会	第1回委員会 			第2回委員会 		第3回委員会(書面) 		
知事		知事協議 				議案提出上程 		
議会		済	【第3回前期】 常任委員会 		【第3回後期】 常任委員会 	【第1回】 議案提出 	【第1回】 常任委員会／議決 	
パブリックコメント			予告 		意見募集期間 